

兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）

＜資料編＞

◇発生の状況◇

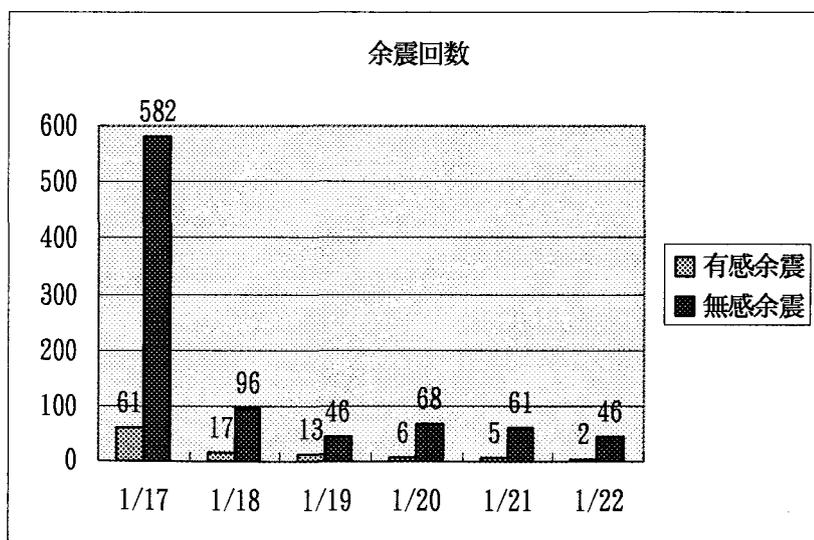
発生日時	平成7年1月17日午前5時46分
震源地	淡路島北部 (北緯34度35、6分・東経135度2、1分)
震源の深さ	18km
地震の規模	マグニチュード7.2
最大震度	7：神戸市、芦屋市、西宮市、淡路島北部および宝塚市の一部
地震の特徴	内陸・都市直下型地震／横揺れと縦揺れが同時に発生

◇宝塚市の被害状況◇（平成8年1月現在）

人的被害	死者…117人 行方不明者…0人 負傷者…2,201人（重傷：60人／軽傷2,141人）
住家被害	全壊…3,800棟（5,535世帯） 半壊…8,881棟（1,4737世帯） 一部損壊…12,999棟（20,905世帯）
その他	道路…1,922箇所 橋りょう…20箇所 河川…4箇所（約109m） 水道…50,000戸
火災件数	4件　全焼…2棟 部分焼…2棟
救助要請	51件
救出人員	63人（うち29人死亡）

◇兵庫県下の被害状況◇（4月6日現在）

死者	5,501人
行方不明	2人
負傷者	34,626人
家屋全半壊	159,544棟（焼失を含む）
火災件数	531件
焼失戸数	7,456棟
がれきの量	約1,100万トン



◇園児・児童・生徒の被災状況◇（3月1日現在）

	学校園	在籍者	被災者	全半壊	死亡者	重傷者	入院者
幼稚園	13	912	54	51			
小学校	24	13,294	1,039	698	2	1	1
中学校	12	6,236	492	438	4	1	1
養護学校	1	21	2	1			
計	50	20,463	1,587	1,188	6	2	2

◇現在の居住地および家族の状況◇（3月1日現在）

	在籍者数	自宅	校区内	県内	県外	父又は母死亡	家族死亡
幼稚園	912	856	37	18	1		
小学校	13,294	12,529	471	235	56	1	
中学校	6,236	5,957	235	35	5		2
養護学校	21	19	1	1			
計	20,463	19,361	744	290	62	1	2

◇仮転出入数◇

＜1月31日現在＞				
転入者	小学校124人	中学校	9人	計133人
転出者	小学校336人	中学校	37人	計373人
＜2月20日現在＞				
転入者	小学校113人	中学校	11人	計124人
転出者	小学校172人	中学校	14人	計186人
＜3月13日現在＞				
転入者	小学校49人	中学校	12人	計61人
転出者	小学校43人	中学校	7人	計50人

◇心のケア◇ 平成7年2/1～3/31

	小学生	中学生	高校生	その他	合計
センター教育相談担当	6	18	1	6	31
精神科医・臨床心理士	44	9		8	61

◇災害救助法に基づく教科書等配布◇

	教科書		学用品
小学校	753人	4,124冊	315人
中学校	344人	2,999冊	216人
計	1,097人	7,123冊	531人

◇平成7年5月20日現在の住居の様子◇

	仮設	避難所	校区内	校区外	市外	合計
小学校	159人	4人	92人	158人	30人	443人
中学校	80人	0人	38人	89人	25人	232人
養護学校	1人	0人	0人	0人	0人	1人
合計	240人	4人	130人	247人	55人	676人

◇文化財被害状況◇

文化財名	区分	所在地	被害状況
中筋八幡神社本殿	国重文	中筋2丁目91	覆屋・本殿共倒壊
高司素盞鳴神社本殿	県指定	高司2-160	覆屋柱倒壊・左相殿ズレ
中山寺本堂	県指定	中山寺2-11	瓦若干落下（被害少）
中山寺大門	県指定	中山寺2-11	瓦若干落下（被害少）
旧東家住宅	県指定	大原野字松尾1	屋根沈み
売布神社社号標石	市指定	売布山手町1-1	標石倒れ

◇避難所となった学校◇

幼稚園	13園	中	1園
小学校	24校	中	22校
中学校	12校	中	10校
養護学校			1校

期間：1月17日～5月21日
延べ：125日間

◇のべ学校避難人数◇ 154,433人

		避難人数	1日平均	派遣人数	1日平均
1月	15日間	67,387人	4,492人	347人	23.1人
2月	28日間	46,136人	1,648人	661人	23.6人
3月	31日間	26,898人	868人	538人	17.4人
4月	30日間	12,470人	416人	167人	5.6人
5月	21日間	1,542人	73人	0人	0.0人

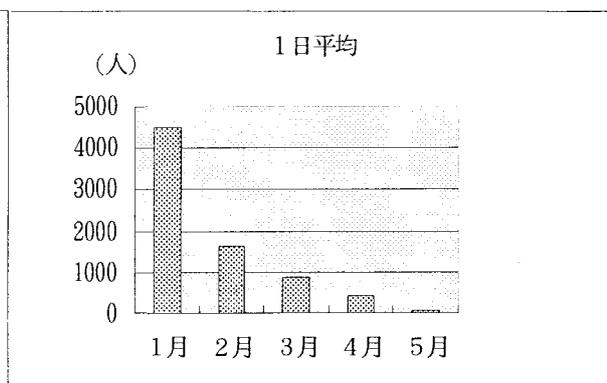
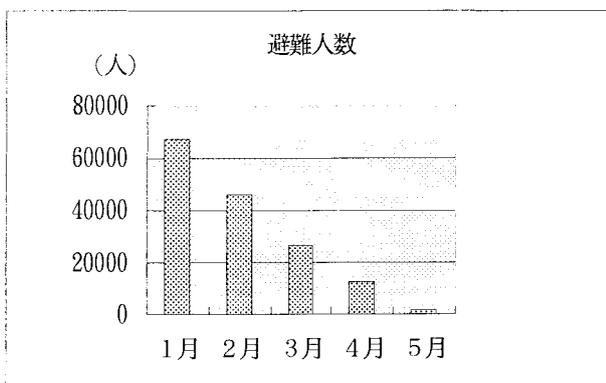
学校避難所	解除月日	のべ日数
良元小	5/21	125日
宝塚第一小	5/6	110日
小浜小	5/1	105日
宝塚小	4/30	104日
長尾小	5/10	114日
仁川小	5/21	125日
西山小	3/18	61日
売布小	5/20	124日
長尾南小	1/31	15日
末成小	3/10	53日
安倉小	4/11	85日
長尾台小	1/21	5日
逆瀬台小	2/14	29日
美座小	5/6	110日
光明小	2/10	25日
末広小	5/6	110日
中山五月台小	1/31	15日
丸橋小	1/31	15日
高司小	4/27	101日
安倉北小	4/23	97日
すみれが丘小	2/11	26日
山手台小	1/31	15日

学校避難所	解除月日	のべ日数
宝塚第一中	4/29	103日
宝塚中	4/2	76日
長尾中	3/6	49日
宝塚中	4/2	76日
高司中	5/9	113日
南ひばりが丘中	3/26	69日
安倉中	1/31	15日
中山五月台中	1/31	15日
御殿山中	5/15	119日
山手台中	2/6	21日

養護学校	4/1	75日
------	-----	-----

宝塚幼稚園	2/9	24日
-------	-----	-----

< 応援派遣当直 >
 教育委員会派遣 のべ 580人
 市長部局応援派遣 のべ1,133人
 < 学校教職員当直 >
 学校教職員 のべ2,316人



◇学校園の再開◇

	開 校			休 業
	幼稚園	小学校	中学校	
1/21(土)	11園	19校	11校	宝塚幼・仁川幼 宝塚小・宝塚第一小・仁川小・長尾南小・逆瀬台小 養護学校・長尾中
1/23(月)	12園	21校 20校と 養護学校	11校	仁川幼 宝塚第一小・売布小・仁川小・逆瀬台小 光ガ丘中(通学路通行止めのため)
1/24(火)	11園	21校 20校と 養護学校	12校	仁川幼・小浜幼(通学路危険のため) 売布小・小浜小(通学路危険のため)・仁川小・逆瀬台小
1/25(水)	12園	22校 20校と 養護学校	12校	小浜幼(通学路危険のため) 売布小・小浜小(通学路危険のため)・逆瀬台小
1/26(木)	13園	24校 23校と 養護学校	12校	逆瀬台小
1/27(金)	13園	24校 23校と 養護学校	12校	逆瀬台小
1/28(土)	13園	24校 23校と 養護学校	12校	逆瀬台小
1/30(月)	全 校 開 校			

◇園児・児童・生徒の出席状況◇

	1/24(火)	2/6(月)
良元小	83%	91%
第一小	56%	95%
小浜小	休業	92%
宝塚小	46%	96%
長尾小	89%	93%
西谷小	97%	98%
仁川小	休業	85%
西山小	66%	91%
売布小	休業	88%
長尾南小	86%	81%
末成小	84%	94%
安倉小	96%	96%
桜台小	96%	96%
長尾台小	93%	96%
逆瀬台小	休業	86%
美座小	83%	93%
光明小	95%	98%
末広小	84%	96%
五月台小	96%	95%
丸橋小	93%	97%
高司小	88%	96%
安倉北小	92%	97%
すみれ小	86%	93%
山手台小	95%	96%
養護学校	59%	86%

	1/24(火)	2/6(月)
第一中	84%	92%
宝塚中	93%	97%
長尾中	92%	95%
西谷中	96%	87%
宝梅中	87%	92%
高司中	95%	98%
南ひ中	92%	95%
安倉中	89%	91%
五月台中	96%	93%
御殿山中	91%	94%
光ガ丘中	74%	95%
山手台中	97%	98%
良元幼	65%	94%
小浜幼	休業	81%
宝塚幼	45%	78%
長尾幼	84%	95%
西谷幼	96%	94%
仁川幼	休業	79%
西山幼	41%	84%
長尾南幼	80%	85%
末成幼	53%	83%
安倉幼	91%	100%
桜台幼	92%	96%
五月幼	83%	83%
丸橋幼	77%	97%

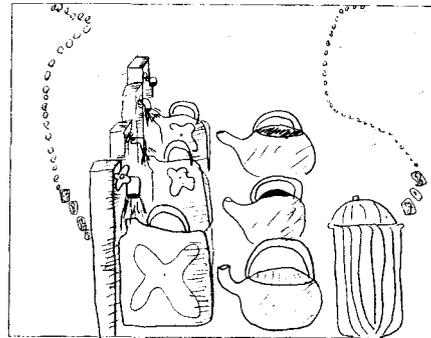
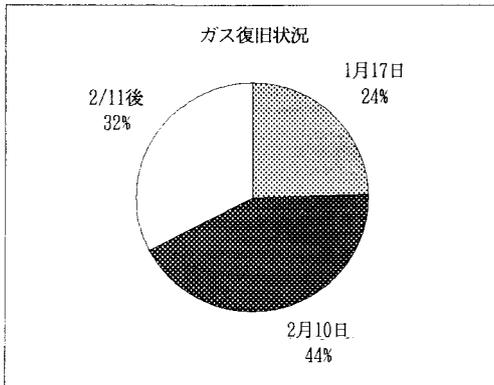
◇ガス復旧状況◇

	1/17	2/10	経過
良元小		○	
第一小			2/13
小浜小		○	
宝塚小			3/11
長尾小		○	
西谷小	○		
仁川小			2/16
西山小			2/14
売布小			2/20
長尾南小		○	
末成小		○	
安倉小	○		
桜尾小		○	
長瀬小		○	
逆瀬小			2/16
美座小	○		
光明小		○	
末広小		○	
五月小		○	
丸橋小		○	

	1/17	10	経過
高司小			2/13
安倉北小			2/14
すみれ小			
山手小	○		

第一中			2/13
宝塚中	○		
長尾中			
西谷中	○		
宝梅中			2/24
高司中			
南ひ中			
安倉中	○		
五月台中			
御殿山			2/16
光方丘			2/27
山手台	○		

養護学校	○		
------	---	--	--



◇水道配水状況◇

	1/17	経過
良元小	○	
第一小		1/29
小浜小	○	
宝塚小		1/26
長尾小	○	
西谷小	○	
仁川小		1/29
西山小		1/27
売布小		2/ 8
長尾南小		1/25
末成小	○	
安倉小	○	
桜尾小	○	
長瀬小		1/24
逆瀬小		
美座小	○	
光明小	○	
末広小		1/23
五月小	○	
丸橋小	○	
高司小	○	
安倉北小	○	
すみれ小	○	
山手小	○	

第一中		2/ 1
宝塚中	○	
長尾中	○	
西谷中	○	
宝梅中		1/25
高司中	○	
南ひ中		1/25
安倉中	○	
五月台中		
御殿山		1/26
光方丘		1/29
山手台	○	

第一中 阪本 孝

養護学校	○	
------	---	--

※水道については配水状況を示したもので、実際には、給水施設等の被害によりさらに数日間は水道が使えなかったものと思われる。

◇卒業式の会場変更◇

御殿山中学校	→ 市民会館
良元小学校	→ 青空（運動場）
小浜小学校	→ 市民センター
宝塚小学校	→ 市民会館
仁川小学校	→ 第一音楽室

◇給食再開時の献立（小学校）◇

2/ 1（水）	コッパ°ハ°ン・牛乳
2（木）	コッパ°ハ°ン・牛乳
3（金）	コッパ°ハ°ン・牛乳
6（月）	コッパ°ハ°ン・牛乳・いちごジャム・チーズ・ソーセージ
7（火）	コッパ°ハ°ン・牛乳・チーズ・野菜ビュッケット
8（水）	コッパ°ハ°ン・牛乳・チーズ・いちごゼリー
9（木）	コッパ°ハ°ン・牛乳・チーズ・プリン
10（金）	コッパ°ハ°ン・牛乳・チーズ・ヨーグルト
13（月）	コッパ°ハ°ン・牛乳・バター・チーズ・フデナオレソジゼリー
14（火）	コッパ°ハ°ン・牛乳・いちごジャム・チキンソーセージ・ヨーグルト・はっさく
15（水）	コッパ°ハ°ン・牛乳・ピーナツバター・チキンソーセージ・バナナ
16（木）	コッパ°ハ°ン・牛乳・バター・チーズ・プリン・いよかん
17（金）	コッパ°ハ°ン・牛乳・大豆バター・チキンソーセージ・バナナ
20（月）	コッパ°ハ°ン・牛乳・はちみつ・チーズ入りかまぼこ・いよかん
21（火）	コッパ°ハ°ン・牛乳・チョコクリーム・チキンソーセージ・ヨーグルト
22（水）	コッパ°ハ°ン・牛乳・スライスチーズ・ツ缶・冷凍ハ°インアップ°ル
23（木）	コッパ°ハ°ン・牛乳・バター・アーモンドスライスチーズ・チキンソーセージ・フル°ン
24（金）	コッパ°ハ°ン・牛乳・りんごジャム・かみかみ黒豆・ホ°ルウィンナーソーセージ・豆乳プリン
27（月）	コッパ°ハ°ン・牛乳・チョコ大豆バター・チーズ入りかまぼこ・いよかん
28（火）	コッパ°ハ°ン・牛乳・バター・チキンソーセージ・チーズ°カスタード°プリン
3/ 1（水）	通常の暖かい副食にもどる（ただし、米飯の再開のト°は立たず）

◇給食再開時の献立（中学校）◇

1/30（月）	コッパ°ハ°ン・牛乳
31（火）	コッパ°ハ°ン・牛乳
2/ 1（水）	コッパ°ハ°ン・牛乳
2（木）	コッパ°ハ°ン・牛乳
3（金）	コッパ°ハ°ン・牛乳
6（月）	コッパ°ハ°ン・牛乳・いちごジャム・チーズ・ソーセージ
7（火）	コッパ°ハ°ン・牛乳・チーズ・野菜ビュッケット
8（水）	コッパ°ハ°ン・牛乳・チーズ・いちごゼリー
9（木）	コッパ°ハ°ン・牛乳・チーズ・プリン
10（金）	コッパ°ハ°ン・牛乳・チーズ・ヨーグルト
13（月）	コッパ°ハ°ン・牛乳・バター・チーズ・フデナオレソジゼリー
14（火）	コッパ°ハ°ン・牛乳・いちごジャム・チキンソーセージ・ヨーグルト・はっさく
15（水）	コッパ°ハ°ン・牛乳・ピーナツバター・チキンソーセージ・バナナ
16（木）	コッパ°ハ°ン・牛乳・バター・チーズ・プリン・いよかん
17（金）	コッパ°ハ°ン・牛乳・大豆バター・チキンソーセージ・バナナ
20（月）	コッパ°ハ°ン・シ°ア°ツ缶・いよかん
21（火）	コッパ°ハ°ン・牛乳・はちみつ・さんまのかば焼・冷凍ハ°インアップ°ル
22（水）	コッパ°ハ°ン・牛乳・チョコクリーム・チキンソーセージ・ヨーグルト
23（木）	コッパ°ハ°ン・牛乳・バター・アーモンドスライスチーズ・チキンソーセージ
24（金）	コッパ°ハ°ン・牛乳・りんごジャム・チーズ入りかまぼこ・かみかみ黒豆・豆乳プリン
27（月）	コッパ°ハ°ン・牛乳大豆バター・チーズ・ハ°インアップ°ル
28（火）	コッパ°ハ°ン・みかんジュ°ス・スライスチーズ・ホ°ルウィンナー°カスタード°プリン
3/ 1（水）	通常の暖かい副食にもどる（ただし、米飯の再開のト°は立たず）

※従来の米飯指定業者は、震災で供給継続が困難となった。しかし、米飯給食を望む声の大きい中、西宮市の業者により、従来の1食弁当方式から飯缶方式に変更しての実施が平成8年1月25日より再開されることとなった。

◇全国からの救援物資◇

【どんなものが送られてきたか】

衣服・・・セーター、コート、ジャケット、マフラー、下着など
 食料品・・・おにぎり、かんづめ、つけもの、パンなど
 飲料水・・・水、ジュース、コーヒー、お茶など
 衛生品・・・紙おむつ、生理用品など
 医薬品・・・かぜ薬、目薬など
 学用品・・・ノート、えんぴつ、ランドセル、絵本など
 日用品・・・タオル、トイレットペーパー、使い捨てカイロなど
 その他・・・いろいろ

【どんな人が助けてくれたか】

<市町村>
 全国総数 114 団体
 都道府県 19 団体
 市(特別区を含む) 47 団体
 町村 44 団体
 その他 4 団体
 近畿圏内 52 団体
 兵庫県内 16 団体
 <民間団体・個人>
 ゆうパックで
 全国から約 46,000 箱
 ゆうパック以外
 全国総数 1,279 件
 近畿圏内 767 件
 兵庫県内 361 件

◆仁川小学校でのボランティア◆

1/28 関西学院大学ボランティア協会より交代制で派遣が始まる
 1/29 教職員によるカレーライスボランティア
 大阪花園店ぞうすいボランティア
 1/30 米上郡山南町婦人部ぜんざいボランティア
 2/5 市ボランティアによるスポーツ大会
 県公社食事ボランティア
 2/9 長野県生飯村婦人部ぶた汁ボランティア
 2/12 大阪韓国青年会議所 韓国風ぞうにボランティア
 2/15 長野県より なめこ汁ボランティア
 2/18 神戸カナティアソアカデミー ホットドックボランティア
 2/19 京都セイロウ協会 うどんボランティア
 2/20 正司さん かず汁ボランティア
 2/26 京都府三和町吉見電気店 汁物ボランティア
 3/8 福井県より かに汁ボランティア
 3/12 大阪ホテルロイヤル 焼き肉ごはんボランティア
 西宮前田さん フruitコンサートボランティア
 3/21 ホテルニューオオタニ 肉井ボランティア
 3/31 関西学院大学ボランティア協会からの派遣終了日

※公式に記録に残るボランティアのみであり、このほかにもたくさんの方々の支援がありました。

◇全国からの応援職員◇

のべ3437名

【どんなことをやってもらったか】

被災証明発行・援護資金貸付・応急危険度判定調査・建築確認審査
 避難所への食糧等物資搬送・高齢者安否確認・宅地防災相談
 倒壊家屋廃材搬送およびダンプ積み込み等・日赤義援金支給事務
 避難所の巡回診療・下水道施設災害調査および設計・ごみ収集運搬
 公共土木施設災害復旧事業査定設計書作成・建築指導行政窓口相談
 既設改良住宅災害復旧事業査定準備・高齢被災者対応・現地調査など

◇市が震災で調達したもの◇

日常生活用品

毛布 2,466 枚

下着(上下) 各15,000 枚

布団

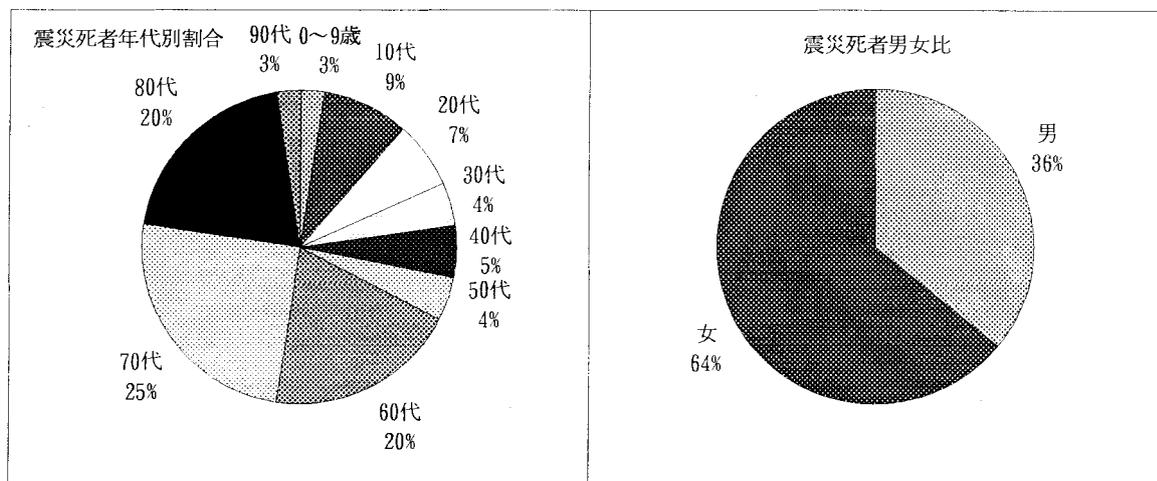
その他

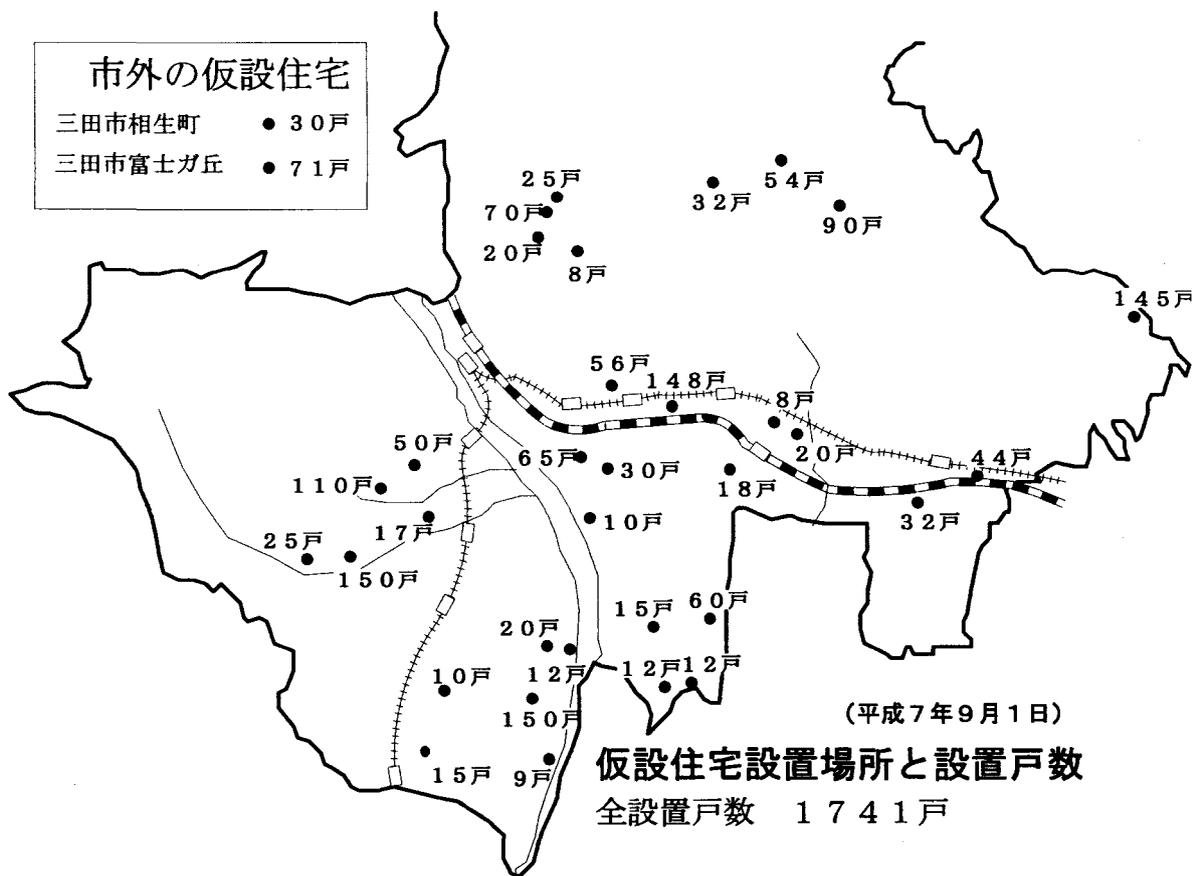
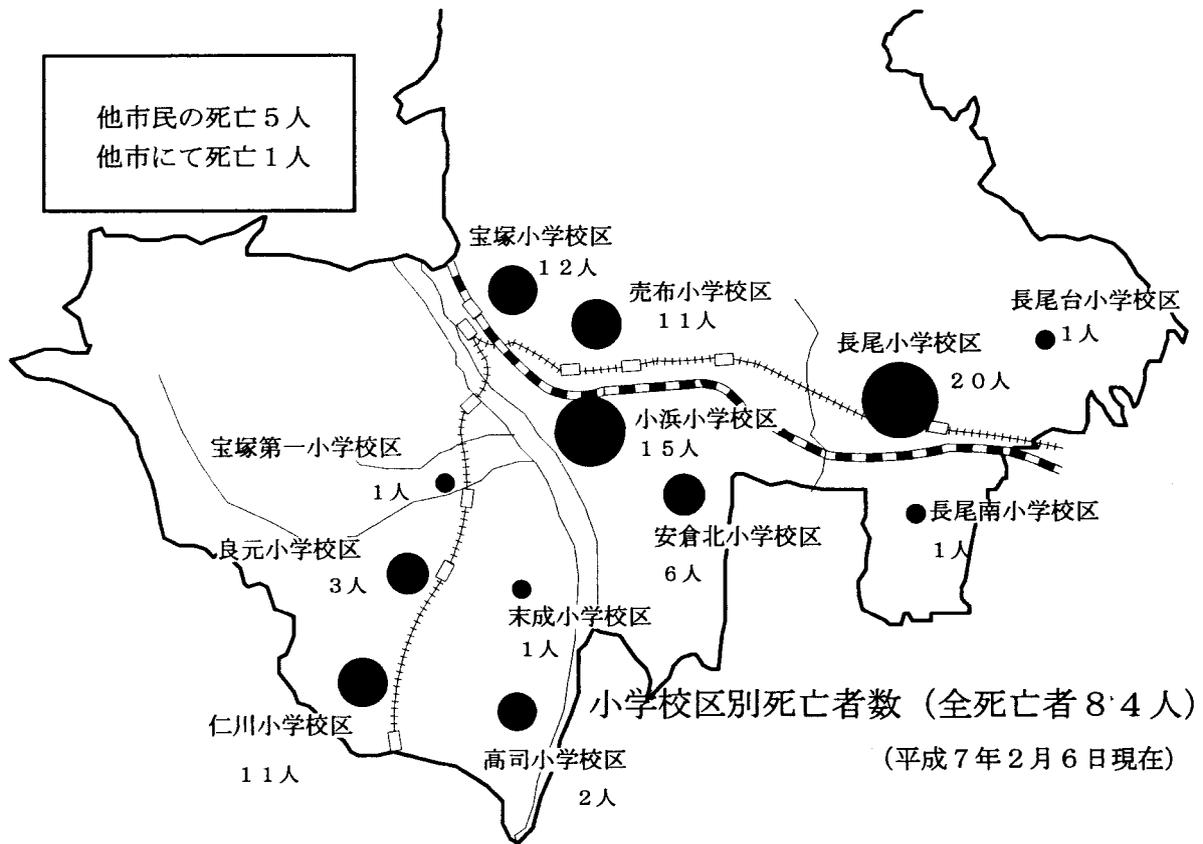
避難所、仮設風呂の設置に伴い、消耗品等多数購入

◇応急仮設住宅と学校区一覧◇

H7.9.1現在

No	仮設住宅名	戸数	小学校	中学校
1	高司4丁目	150	高司	高司
2	安倉上ノ池公園	30	安倉北	安倉
3	鹿塩2丁目	15	仁川	宝塚第一
4	安倉南1丁目	15	安倉	安倉
5	安倉北1丁目	65	小浜	安倉
6	逆瀬台1丁目	25	逆瀬台	光ガ丘
7	平井公園	44	長尾	南ひばりガ丘
8	中山中央公園	98	中山桜台	中山五月台
9	中野町	10	良元	宝塚第一
10	中山五月台公園	54	中山桜台	中山五月台
11	安倉下ノ池公園	60	安倉	安倉
12	末成町	20	末成	高司
13	野上2丁目	17	宝塚第一	宝塚第一
14	中筋2丁目	20	長尾	長尾
15	中筋ゲートボール場	8	長尾	長尾
16	すみれガ丘1丁目	20	すみれガ丘	御殿山
17	高松第2公園	12	末成	高司
18	すみれガ丘北公園	25	すみれガ丘	御殿山
19	中山桜台公園	32	中山桜台	中山五月台
20	安倉南第3公園	12	安倉	安倉
21	安倉南第4公園	12	安倉	安倉
22	住友信託銀行 中山グランド	148	売布	宝塚
23	山手台	90	山手台	山手台
24	日本銀行 逆瀬川グランド	110	西山	宝塚
25	日本興業銀行 逆瀬川グランド	150	西山	光ガ丘
26	米谷グランド	18	小浜	宝塚
27	すみれガ丘中央公園	70	すみれガ丘	御殿山
28	美幸公園	9	高司	高司
29	小浜2丁目	10	美座	宝塚
30	山本南1丁目	32	長尾南	長尾
31	御殿山公園	8	宝塚	御殿山
32	北雲雀ガ丘	145	長尾台	南ひばりガ丘





教育施設被災状況一覧

	校 舎					屋内運動場	屋 外						備 考			
	柱	壁	天井	床	ガラス	壁	屋根	プール	シ ン キ ス パ ン ク レ イ ン	敷地	舗装	擁壁		埋没管	花壇等	フェンス
良元小	◎	◎							◎							
第一小		◎							◎							
小浜小	◎	◎							◎							
宝塚小	◎	◎	◎	◎	◎				◎						◎	中南校舎半壊
長尾小	◎	◎							◎							
西谷小		◎			◎				◎							
仁川小		◎				◎			◎							
西山小		◎					◎		◎							
売布小		◎						◎	◎	◎						
長尾南小		◎		◎	◎				◎							
未成小		◎			◎				◎		◎					
安倉小		◎							◎							
桜台小		◎							◎							
長尾台小		◎							◎				◎			
逆瀬台小		◎							◎			◎				
美座小		◎			◎				◎							
光明小		◎			◎				◎							
末広小		◎			◎				◎							
五月台小		◎	◎		◎				◎							
丸橋小		◎							◎							
高司小		◎		◎	◎				◎							
安倉北小		◎	◎						◎							
すみれ小		◎							◎		◎					
山手台小									◎							
養護学校		◎			◎				◎							
第一中	◎	◎	◎	◎	◎											北校舎壁等損傷 南・東・技術校舎棟半壊
宝塚中		◎			◎				◎							
長尾中	◎	◎	◎	◎	◎											南校舎壁等損傷 北校舎棟半壊
西谷中		◎														
宝梅中		◎							◎							
高司中		◎						◎	◎					◎		
南ぴ中		◎						◎	◎	◎						
安倉中		◎							◎							
五月中		◎							◎							
御殿山中		◎						◎	◎		◎					
光方丘中		◎						◎	◎		◎					
山手台中							◎									

◇震災直後の学校の対応◇（小浜小学校）

1月17日（火）

7:00 学校長到着

被害状況の確認

- * 北校舎側壁に多数の亀裂・西階段の中央部分に破損が発生（各階とも）。
- * 体育館のガラス1枚破損。壁掛け用の時計が落下し破損。
- * 焼却炉が東へ約10度傾き、周辺地面に南北約20m、幅7cmの亀裂。
- * 給食室の大型給湯機10cm程度東に移動、煙突は外れていた。
- * 東中校舎と渡り廊下のつなぎ目が揺れてコンクリート破片がピロティに散乱。
- * 教室では、アクアリウムが床に落ち、ガラスが割れて散乱。水中の生物は既に死亡。二段ロッカーは上が落ち、大きく破損。窓ガラスにずれが出ていた。ゴムパッキンのため割れてはいない。

避難者のために校門と体育館の開放

7:30 教頭到着

今後の対応について協議。

水道・ガス・電気は停止。

8:00 職員が続いて勤務につく。

停電と電話が不通のため、連絡がとれない。とりあえず本日は臨時休校とする。

校門にその旨掲示する。

8:15 児童1名登校するも、職員付き添いで下校させる。

避難者は0名。

9:00 職員の安否を確認するも、依然10数名が不明。

出勤してきた職員と協議して、校区の様子と児童の安否を確認する作業に取りかかる。10:30には再度集合とする。

10:30 情報交換。児童については、詳しくは不明だが、死亡・負傷の情報はない。校区のうち星の荘・今里町の被害が著しく、他の地区の被害も相当である。既に他所へ避難した家庭も多数あるらしい。通学路も崩れた家屋にはばまれ、非常に危険な状態にある。余震の可能性も十分にあるので、留意のこと。

今後の対応について、3点に絞って行動することを決める。

①児童の安否を確認する。

②職員の安否を確認する。

③避難者の対応。

12:00 職員の安否については、確認済み。

全員生命には異常なし。負傷1名。全壊1名。半壊10名。一部損壊多数。

ただし、道路状況等で出勤できない職員18名。

午後 避難者が体育館に集まりだす。停電はなくなった。

職員による校区のパトロールを繰り返し、児童の安否を重ねて確認する作業を続け夕刻までに8割方「無事」の確認をする。

P T Aの連絡網は機能しない。役員の実家の被害も大きい。

16:00 児童の安否確認を中止し、避難者対応をする。

ストーブ 8 台を体育館に運び、通路を確保。混乱のないように職員が場所の指示や体育館の使用について説明する。

運動場を駐車場に開放。

時間の経過とともに避難者が増え、午後 10 時頃には 400 名を越える。

- 22:00 避難者が増加して収容しきれないので、北館一階の会議室を開放する。
余震に不安はあるが、特に混乱もなく、学校側の指示に従って行動してくれた。
今後の対応について協議する。

職員が 11 名宿直にあたる。校長室・職員室にて交代で仮眠する。保健室は緊急用にして、使用を控える。

食糧と水、灯油の確保が当面の課題である。

夜間の見回りを 1 時間ごとに行う。深夜まで避難者は増え続ける。最大時 450 人を越える。

1 月 18 日（水）

- 7:00 教育委員会の指示により、本日も臨時休校とする。

P T A 連絡網により休校を指示。

- 9:00 出勤した職員により、昨日の情報交換と本日の予定について話し合い、3 点に集中して行動する。地区パトロールと家庭訪問を中心として、不明者の確認に重点を絞る。

- 11:00 救世軍大阪支部より軽トラック 2 台分の食糧差し入れ。

ヤクルトより飲み物差し入れ。

当分の食糧についての不安は解消。すべて学校の管理下におく。

避難者数約 450 名。

児童の安否については、ほぼ 9 割確認。無事。家族についても、死亡者もない模様。

- 午後 通学路の安全性について、確認を行うも、高速道路の閉鎖や国道の閉鎖のため、迂回する車が校区のあちらこちらで渋滞し、非常に危険な状態にある。また、家屋やブロック塀の倒壊が心配される箇所がとても多い。縦貫道のトンネルもずれがあって危険である。

- 夜間 避難者の不安をかきたてないように十分に配慮し、食事からすべてについて、学校が取り仕切り、トラブルのないように留意する。

給水管破裂のため水洗便所が流れないので、職員全員で幼稚園の池の水をバケツリレーしていると、避難者も積極的に参加して、以後は自分達で行うと申し入れがあった。

避難者の半数近くが「余震」に対する恐怖から、一時避難をしているようだが、「余震」のたびに、不安感は増幅するようである。

泊まり込みの職員にも不安感は強い。

食料品と水が確保できているので、当座の心配は「余震」だけである。灯油も確保できる見通しが出てきた。

1 月 19 日（木）

- 7:00 臨時休校 3 日目。

P T A 連絡網により休校を指示。

- 9:00 職員打ち合わせ。地区パトロールと家庭訪問、避難者の対応について。
- 11:00 職員打ち合わせ。情報交換とまとめ。
- * 児童の家庭状況
 - 全壊 41棟(60名)
 - 半壊 49棟(74名)
 - 一部損壊 不明
 - * 通学路の状態
 - 通学不能場所及び危険個所の確認。
 - * 避難者については、徐々に減りつつあり、「余震」を恐れての避難者は少なくなった。避難者名簿作成の結果、約200名となるが、既に勤めに出たり、家の片付け等で出払っており、正確にはもう少し多いようである。
 - * 食料品・水・灯油の確保と避難者の不安解消の手だてを検討。避難者による「自治組織づくり」についても協議する。
- 午後 対策本部との連絡等、不十分であり、職員の疲労もピークになってきた。もう1日明日を臨時休校とし、明後日1月21日(土)より学校再開とする旨、PTAを通して連絡する。
- 被害の少なかった子供たちが、数人学校に来るが、自宅待機を指示。
- 夜間 避難者の生活は落ち着いて、安定してきている。連日午後9時に避難者を前に約30分、意見や希望を聞いて不安を解消するように努力している。効果があるようである。
- 食事も順序よく整列して、子ども・老人・障害者等を優先して、数人が積極的に動いてくれている。
- 1月20日(金)
- 9:00 職員打ち合わせ
- * 明日の登校を控えて、特に「通学路の安全」を確認することと、保護者の不安感を除去するような働きかけで、児童の登校がスムーズに進むよう、担任を中心に地区ごとにパトロールを行う。
 - * 避難者の組織作りは、今夜とする。
- 11:30 職員打ち合わせ
- * 登校の安全確保のための通学路の変更と登校指導について。
 - ☆中国縦貫道不通のため、迂回する車が校区の道路にあふれ、早朝から深夜に至るまで非常に危険な状況にある。また、接触事故などの多発が目立つ。さらに通行制限道路にも無視して入る車が多い。
 - ☆PTA愛護部を中心に登校指導を依頼するが、愛護部にも被災者が多く、PTAの全力を挙げての協力を要請する。
- 午後 教室など校舎内の整理。校舎内のパトロール。
- 21:00 避難者に集合をかけ、自治組織の結成を呼びかける。希望者10人を全員の承諾の上で会議室に集め、「世話役会」を作る。まとめ役及びサブを決め、仕事の内容を検討し原案を作成して全体にはかる。
- * 食事の準備、清掃、意見や要望のまとめなど主体的に考え・行動してもらうが、

- 当面は学校が主導する。物品の管理も学校が行う。
- *ある期間が過ぎた時点で「世話役会」にすべてを移管することになっている。
 - *学校との打ち合わせは毎夜21:00とする。

1月21日(土)

9:00 児童登校

在籍児童数 568人
出席児童数 421人
欠席児童数 147人

児童より聞き取り調査等、学級指導を行う。

10:30 下校指導及び地区パトロール。

欠席者の家庭訪問。

児童は、互いの無事を喜び合うと共に、震災の恐怖を生々しく語り合っていた。ショック状態で登校できない児童もいたようである。また、家を失い、避難所で生活している児童もかなりいて、不安の様子はかくしきれない。しかし、全体としてはこちらが思っていたのより、明るい表情であったのが救いである。

午後 避難者数約110名

校区内の避難所は、第2隣保館・泉会館など4カ所。

児童の避難先は、他に安倉北小学校・美座小学校・宝塚中学校・市立体育館など数カ所と判明した。それぞれの避難所からの登校について、安全確保の工夫を話し合うも職員の出勤が思うにまかせないので、人手が不足している。登校についての不安は大きい。

1月23日(月)

9:00 児童登校

出席児童数 455人
欠席児童数 111人
転出児童数 2人

10:00 登校の様子などから24日(火)からの登校には大きな危険が伴うことが明らかとなり、再度の休校もやむを得ないと判断する。教育委員会と協議し、24日・25日の休校を決定。

<休校の理由>通学路の安全の確保ができない

- *ブロック塀の倒壊が多く、修復されていない。いつ倒れてきても不思議ではない状態である。
- *屋根瓦の落下が激しいところがある。
- *縦貫道のトンネルへの不安。
- *保護者の通学への不安も、余震との関連で大きい。
- *あと3日あれば、もう少し状況がよくなることが予想される。

11:00 一斉下校後、欠席者の家庭訪問。

★この震災が「阪神・淡路大震災」と命名される。

夜間 避難者数約130名

避難所は安定している。

◇震災直後の学校の対応◇（宝塚第一中学校）

1月17日（火）

8:00 教頭出勤

8:40 校長出勤

校内災害対策本部を校長室に設置し、指揮に当たる。

* 臨時休業にする旨の指示をする。

登校してくる生徒への対応をする。

※職員出勤続く（最終的には出勤者21名）

近隣地区の様子は大変で、生徒の安否も気遣われる状態。

* 校舎の点検を指示する。

校舎の損傷が激しく、損傷箇所を確認する。

南館の柱、北館の壁、技術棟の土台、体育館のアンカーボルト棟が損傷。

* 生徒の安否を確認するよう指示するが、電話はまったく通じず、確認の方法なし。

* 体育館を避難場所に設定、そのための準備を指示する。

体育館にシートを敷く。

校門、体育館入口に案内を掲示する。

トイレは体育館横を使用、水はプールのものを使用。

体育館に受付を設置。

* 夕方より、避難する住民多し、食べ物がないため、給食の牛乳を提供する。

石油ストーブ3台仁川小より借りる。

* 避難住民に対応するため、校長、教頭以下10名の教師が学校に宿泊し、対応に当たる。

* 生徒が1名死亡したとの情報を入手し、生徒宅へ確認のため出向くが家屋は全壊で確認できず。

午後11時30分すぎ、遺体がスポーツセンターに安置されているとの情報があり、校長・担任が出向くが確認できず。

1月18日（水）

* 破損個所の点検・報告の指示あり、出勤している教師にて対応する。

* 昼頃、担任が生徒宅に寄った時に遺体が西宮市民病院より近所の叔父の家に帰っているとの話を聞き、叔父宅にて生徒の死亡を確認する。

* 市よりおにぎりの配給があり、2人で1個ぐらゐの割り当て。

引き続き牛乳も出す。

1月19日（木）

* 再度、破損個所の点検を行う。

* 正式に本校の災害対策委員会を設置する。

（行事委員会のメンバーがあたる）

☆第1回災害対策委員会

→学校の再開に向けて

出勤可能な職員の数

○20人 ×13人 △1人

- 被災者への対応
 - 生活物資の確保（水は伊丹の職員の家から、灯油）
 - 駐車場の指定。
 - 避難所の安全、落とし物、置き引き等の検討。
 - 病人は保健室・和室を使用。
 - 判断に迷う差し入れは校長、教頭の判断で受け入れ。

- * 校長会 2 : 0 0 ~
 - 死亡生徒の通夜
 - 市より 2 名配置
 - 市より壁の補修（ベニヤ張り）

1月20日（金）

☆第2回災害対策委員会

- 生徒を迎える準備
- 生徒への連絡網、地域への張り出し
- 通学路の安全の点検・確保（学年ごと）
- 生徒用アンケートの検討

* 登校は 21日 9 : 30 運動場にて安否の確認とアンケート。

* 死亡生徒の葬儀

1月21日（土）学校再開

10:00 生徒登校、全校集会（状況の説明と冥福を祈って黙祷）
各学年に分かれてアンケート

11:00 下校

* 出欠状況

1年生	在籍 199人	出席 153人	欠席 46人	欠席率 23%
2年生	在籍 226人	出席 180人	欠席 46人	欠席率 20%
3年生	在籍 248人	出席 189人	欠席 59人	欠席率 24%

☆第3回災害対策委員会

→生徒の安否の確認（まったく状況のつかめない生徒）

1年	2名
2年	5名
3年	3名

→教科書のない者調査について

職員の状況把握アンケートの実施について

→生活物資の確保

単車用テントの設営（2張り）

< ボランティア関係 >

(1) 避難者へのボランティア

避難所に常駐のボランティアの人は来なかったが、連絡係、老人の介護等多くの方々の協力があつた。特に、医師団の避難所巡回は避難者に安心感を与えていたようである。

多くの炊き出しや差し入れもあり、避難者にとっては大変助かったと思う。

(2) 生徒のボランティア

本校の2年生の有志が、ボランティアで避難所に合計3回の炊き出しをした。本人たちは「何かをしなければ」という思いでしたようである。

また、風呂掃除を毎日、黙々としている生徒もあった。

(3) 遠方からのボランティア

横浜よりボランティアの人が来る。組織的なものでなくて、各自の意志できていた。

また、「何か手伝うことはありませんか」という人も多かった。

職場単位でボランティアに来られるところもあった。

< 避難者の意見等 >

当初・・・(物質的な要求が多かった)

*寒い、暖房をして欲しい。(当初は仁川小から石油ストーブを3つ借りてきて使用する。ガスは来ていなかった。来ていたとしても体育館には設備なし。)

*毛布が少ない。

中間・・・(対人関係、プライバシー関係の処理)

*夜遅くまで起きて話している人がいるので迷惑をしている。どうにかして欲しい。

*自分勝手な人がいる。(食事等の品物をたくさん持って帰る。食事の時だけ来て10人分ぐらい持って帰る。等)

後半・・・(行く末、避難場所の移動等にかかわる希望・要求等)

*いつ移動するのか。

*仮設住宅について。

< 問題点と課題 >

*避難された方からは「とてもお世話になった」という声を聞いたが、外部との対応がどうだったか。

*ボランティアに来られたとき、本校の避難人数のような場合、何をどうしてもらうのか、内容的にも、時間的にも困ったことがあった。仕事があるときは有り難いが、ないときはわざわざ遠くから来ていただいて済まない気持ちになる。市を通してするなりの組織が作れればと思う。

*生徒のボランティア活動については、日常的に老人や障害者などの社会的弱者とのふれあいをさせておかないといけないと思う。

*ストーブさえもなかったことを思うと、ある程度のストックが必要だと思う。

*生徒のボランティアは素晴らしい。指導をされた先生に拍手!

*先生方の家から、コンロ、レンジその他いろいろなものを持ってきていただいて大変助かった。逆に、これらがなかったときのことを思うとストックが必要。

*今回は、避難者が少人数で、教師主導でやり通せたが、大人数で長期的になる場合は、避難されている人の中から「適正な」リーダーを早い段階で作る必要がある。また、地域のリーダー(自治会長等)を利用するなり、ある程度のマニュアル化されたものを作っておくことが必要であると思う。その場で何となく作るのは、うまく行けばよいが、問題も起こりやすいのではないか。

1. 日時 1995年10月20日(金) 2校時
2. 学級 第5学年1組 36名(男子21名、女子15名)
3. 単元名 わたしたちの生活と情報
4. 趣旨

○ 近年、情報通信手段の発達により、1日中、大量の情報が発せられるになり、身の回りに情報があふれるようになって来ている。また、テレビ、ラジオ、ファックス、パソコン通信などの情報通信手段が、子どもたちの生活の中にも入って来ている。

しかし、あふれる情報の中から、必要なものを選び出し、適切に処理・判断するのではなく、「伝えられる情報」に振り回されることも多い。また、多くの情報に囲まれる中で情報に対して無神経になっている場合も多々ある。

子どもたちは、3年生、4年生の学習でクリーンセンターや浄水場の見学などをしてきた。5年生では、田畑の見学をして考えたり、田植えも体験したりした。また、学習したことを「社会新聞」にまとめてきた。しかし、自分達の日・足で調べたりすることは、まだ十分ではない。

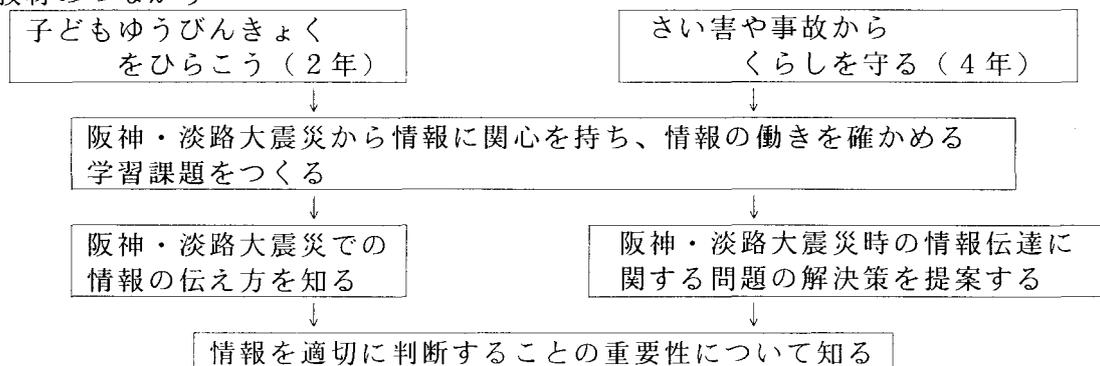
○ そこで、情報の大切さを痛感した阪神大震災の経験(自分の体験とアンケートに基づく大人の人達の考え)から、情報通信手段の仕組み・働きについて調べ、情報の適切な処理・判断をしようとする力を付けさせたいと考えた。

アンケートから班ごとに「問題」をとらえ、自分達で確認した課題の解決に向けて、市役所・N T T・放送局・新聞社などをにたずねさせ、自分達なりの「解決策」を持たせたい。また、調べる過程において情報通信手段についての理解を深めさせたい。

5. 単元の目標

- ・いろいろな情報通信手段について、その仕組みと働きについて知る。
- ・様々な情報を適切に処理・判断し、生活に生かすことができるようにする。
- ・調べたことをもとに、情報の問題解決の方法を考え、わかりやすく発表する。

6. 教材のつながり



7. 学習の流れ(全13時間)

- 第1次 阪神・淡路大震災の体験をもとに、情報の動き・役割について知る。
- ・アンケートを作成し、アンケート集約により、問題をとらえる。(2)
 - ・問題をもとにして課題をつかみ、調査・研究する。(3)
 - ・調査・研究をもとに、課題解決にむけての提案をまとめる。(2)
 - ・各班の提案を聞いて、考えを深める。(本時)(2)
 - ・学習したことをまとめる。(1)

第2次 新聞社の見学を通して、マスコミで働く人々の仕事について知る。(2)

第3次 学習したことをもとに、関係機関に課題解決策を提案する。(1)

8. 本時のねらい

阪神大震災の経験から、情報を伝える際の問題点について考え、課題解決にむけての提案を考える。

9. 展開

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
1. 友達の発表を聞く。 ・調べたことを基に、根拠を明かにしながら発表する。 ・自分の考えとくらべながら聞く。 2. 提案された考えに対して、質問や意見を発表し、話し合う。 3. 次時の学習を確認する。	・各班の課題からそれないようにさせる。 ・調べたことをもとに、発表させる。聞き手も考えられるような発表の工夫を工夫させる。 ・自分達の調べたことと比べながら現実的な提案かどうか、考えさせる。

(資料)

◇宝塚小学校区にお住まいの大人の人達へ◇

1995年10月
宝塚市立宝塚小学校5年生

情報に関するアンケートのお願い

私たち宝塚小学校5年生は、社会科で情報の動きや役割について、学習します。そこで、その資料として阪神・淡路大震災の後の情報について、大人の人たちがどのように考えておられるのかアンケート調査をして調べることになりました。

お忙しい中ですが、ぜひご協力下さい。書かれましたアンケートは、アンケート回収箱に入れて下さい。

アンケートの書き方についてのお願い

- | |
|---|
| 1. 質問に対する答は、記号（アイウ…）に○をつけて下さい。○はいくつ付けてもかまいません。
2. 答が、アイウ…の中に無い場合は、言葉でお書き下さい。
3. アンケート回収箱は、（ ）にあります。
4. 10月 日までにお願いします。 |
|---|

回答用紙

回答は、記号を○で囲んでください。回答用紙は、切り取り線から切り取って、アンケート回収箱に入れて下さい。

- 大震災が起きた後、どんな情報が知りたかったですか。
ア、イ、ウ、エ、オ、カ、キ、ク、ケ、コ、サ、シ、その他（ ）
- 1の情報はどのような手段で知ることが出来ましたか。
ア、イ、ウ、エ、オ、カ、キ、ク、ケ、コ、サ、シ、ス、セ、ソ、その他（ ）
- 大震災が起きた後、どんな情報を伝えたかったですか。
ア、イ、ウ、エ、その他（ ）
- 3の情報はどのような手段で伝えることが出来ましたか。
ア、イ、ウ、エ、オ、カ、キ、ク、ケ、コ、その他（ ）
- 大震災後、知りたかった情報を、速く知ることが出来た手段は、何ですか。
ア、イ、ウ、エ、オ、カ、キ、ク、ケ、コ、サ、シ、ス、セ、ソ、タ、その他（ ）
- 大震災後、知りたかった情報をくわしく知ることが出来た手段は、何ですか。
ア、イ、ウ、エ、オ、カ、キ、ク、ケ、コ、サ、シ、ス、セ、ソ、タ、その他（ ）
- 大震災後、情報について困ったことは、どんなことですか。
ア、イ、ウ、エ、オ、カ、キ、ク、ケ、その他（ ）
- 大震災後、情報についてほっとしたことは、どんなことですか。
ア、イ、ウ、エ、オ、カ、その他（ ）
- その他、情報に関して参考になることがありましたら、お書き下さい。
（ ）

ご協力ありがとうございました。

セ、家にはってある張紙
ソ、実際に見にいった
タ、その他にありましたら、自由にお書き下さい。

7. 大震災後、情報について困ったことは、どんなことですか。

- ア、電話がなかなかつながらなかった。 イ、まちがい電話が多かった
ウ、水道の復旧の情報が遅かった エ、ガスの復旧の情報が遅かった
オ、食料に関する情報 カ、風呂に関する情報
キ、トイレ用の水に関する情報 ク、どこに避難したらよいかの情報
ケ、その他にありましたら、自由にお書き下さい。

8. 大震災後、情報についてほっとしたことは、どんなことですか。

- ア、はげましの手紙が来た
イ、電話がつながって安否を伝えることが出来た
ウ、水道が出るという知らせが来た
エ、ガスが復旧することが分かった
オ、親戚や友達の安否が分かった
カ、その他にありましたら、自由にお書き下さい。

9. その他、情報に関して参考になることがありましたら、お書き下さい。

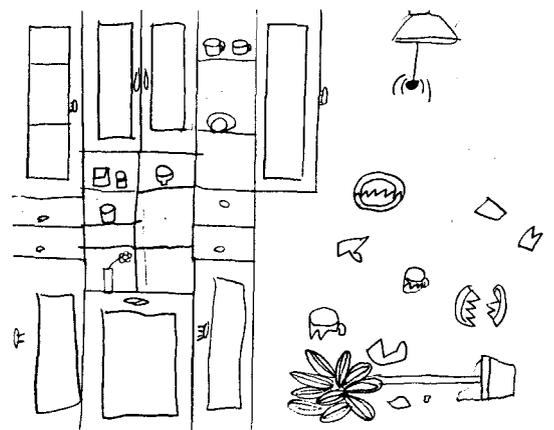
アンケート集計結果

回収率(452/785)

1～8の各問いのその他の項と、9番のその他の項では、非常にたくさんの方が書かれていました。その中には、むずかしいこともたくさんありました。また、とても長く、くわしく書かれているものもたくさんありました。全部は、まだ集計ができていませんので、問題だと思われるものから書きました。

1. 大震災が起きた後、どんな情報が知りたかったですか。

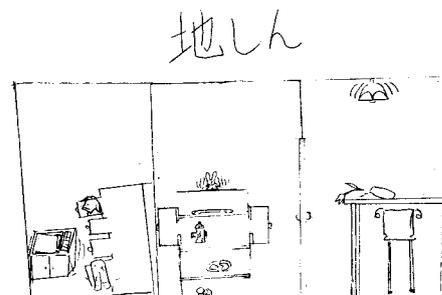
回答項目	人数
地震による被害の状況	312
水道・ガス・電気・電話等の復旧の見通し	293
親戚の安否	228
交通機関の復旧状況	189
友達の安否	185
会社や仕事先の状況	118
自宅の回りの被害状況	117
仕事などで離れていた家族の安否	58
どこに避難したらよいか	46
自宅の状況	23
学校	8
余震について	3
どう行動すれば安全かの情報	2
水・食料品に関する情報	1



光明小 田代あかね

2. 1の情報は、どのような手段で知ることができましたか。

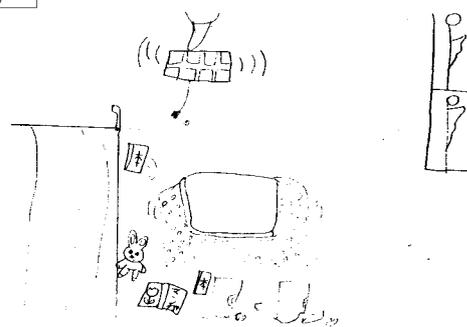
回答項目	人数
テレビ	229
携帯ラジオ	197
新聞	147
電話	110
公衆電話	96
ラジオ	74
カーラジオ	55
携帯テレビ	33
携帯電話	23
市の広報紙	23
家に張ってある張紙	22
掲示板	19
ファックス	12
口コミ(人に聞いた)	10
手紙	9
歩いて回った	5
カーテレビ	1



光明小 松代 とも

3. 大震災が起きた後、どんな情報を伝えたかったですか。

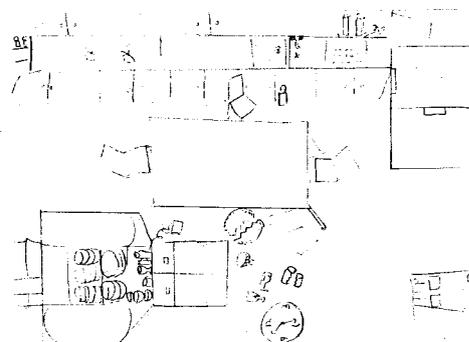
回答項目	人数
自分と家族の安否	344
自宅の被害状況	128
自分の避難先	50
職場の状況	1
近所のガスもれ	1
出勤できないこと	1
近所で生き埋めになった人のこと	1



4. 3の情報は、どのような手段で伝えることができましたか。

回答項目	人数
電話	209
公衆電話	155
手紙	45
携帯電話	40
実際に見に行った	35
ファックス	18
新聞	10
家に張ってある張紙	9
掲示板	8
相手からの電話	4

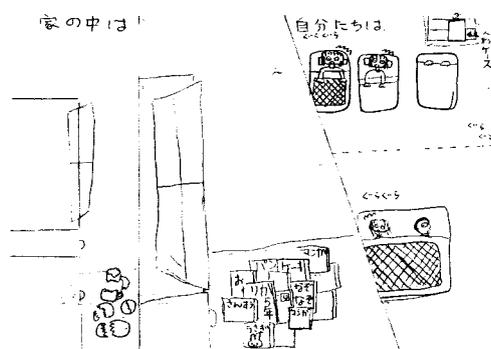
光明小 薮 ゆうこ



光明小 山中 ゆい

5. 大震災後、知りたかった情報を、速く知ることができた手段は、何ですか。

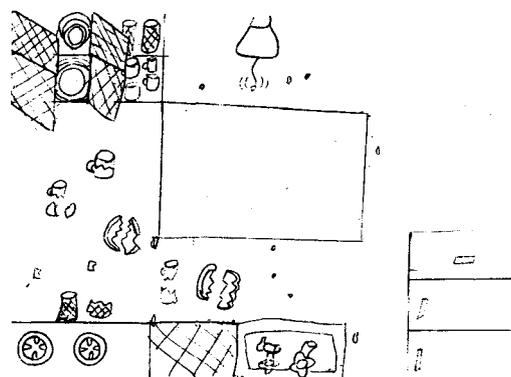
回 答 項 目	人 数
テレビ	201
携帯ラジオ	190
新聞	92
電話	88
ラジオ	80
公衆電話	53
カーラジオ	47
実際に見に行った	39
携帯テレビ	37
携帯電話	17
掲示板	13
市の広報紙	13
手紙	6
口コミ（人に聞いた）	4
家に張ってある張紙	2
ファックス	1
相手からの電話	1



光明小 成相 亜季子

6. 大震災後、知りたかった情報を、くわしく知ることができた手段は、何ですか。

回 答 項 目	人 数
テレビ	326
新聞	146
携帯ラジオ	116
電話	61
ラジオ	58
公衆電話	44
実際に見に行った	42
カーラジオ	29
市の広報紙	24
携帯テレビ	21
掲示板	15
手紙	10
携帯電話	7
家に張ってある張紙	6
ファックス	1
口コミ（人に聞いた）	1



光明小 平井 睦子

7. 大震災後、情報について困ったことは、どんなことですか。

回 答 項 目	人 数
電話がなかなかつながらなかった	332
ガスの復旧の情報が遅かった	235
風呂に関する情報	140
水道の復旧の情報が遅かった	123
食糧に関する情報	70
トイレの水に関する情報	34
どこに避難したらよいかの情報	29
交通に関する情報	4
間違い電話	4
ガスもれの情報	3
コインランドリーに関する情報	1
建物の安全性に関する情報	1



8. 大震災後、情報についてほっとしたことは、どんなことですか。

回 答 項 目	人 数
電話が伝わって安否を伝えることができた	296
親戚や友達の安否が分かった	224
ガスが復旧することが分かった	222
励ましの手紙がきた	82
水道が復旧することが分かった	29

安倉北小 岡田 千陽

9. その他、情報に関して参考になることがありましたら、お書き下さい。

回 答 項 目	人 数
神戸や西宮のことばかりで、宝塚のことがわからない	10
宝塚市の情報が遅い	6
宝塚市の情報が行きわたらなかった	5
宝塚市の広報車やヘリコプターを出してほしかった	5
ライフラインの地域別情報がほしかった	2
パソコンを活用すべきだ	2
目や耳の不自由な人に情報を伝える方法を考えるべきだ	2
情報センターや掲示板を設置すべきだ	1
駅前公衆テレビを設置すべきだ	1
マンションで、テレビの共同アンテナが使えなくて困った。BSは使えた	1
衛星回線で公共機関をつなぐべきだ	1
公共機関に発電機を置くべきだ	1

宝塚市長 正司 泰一郎 様

この間は、アンケート調査に、ご協力いただき、ありがとうございました。
私たち、5年1組は、アンケートをもとに、情報の伝わり方、又、大切さを勉強しました。

勉強したことを送りますので、見て下さい。

宝塚小学校5年1組

◇私達の提案◇

わたしたちは、阪神・淡路大震災の体験をふまえて情報についての勉強をしました。大震災の時の情報に関する問題を考え、大人の人達の考えも知ろうとアンケートを取りました。宝塚小学校区内の785軒の家を対象にアンケート調査をし、452軒の家から回答が寄せられました。アンケートの回答には、とてもたくさんの方が書かれていました。むずかしいことも多く、せっかく回答して下さったのに、調べることができなかったこともありました。

わたしたちは、このアンケートをもとに次のようなことが問題だと考えました。

- ・知りたい情報が全体に行きわたらない
- ・知りたい情報が伝わるのが遅い
- ・電話が伝わらない
- ・神戸や西宮のことばかりで宝塚のことがわからない
- ・目や耳の不自由な人にどう伝えるか
- ・目や耳の不自由な人がどう伝えるか
- ・救助を求める情報をどうして伝えるか

これらの問題の中から、グループごとにテーマを決めて調べることにしました。そして、グループで本を見たり、市役所・放送局・新聞社・N T Tなどにたずねたりして調べました。その中で、市役所・放送局・新聞社・N T Tで働く人達が、大震災の時、会社が被害をうけたり、自分の家も被害をうけたりして苦勞したけれど、報道の仕事や市役所の仕事をされていたことも分かりました。また、いろいろな情報を正しく判断することが大切であることも分かりました。

わたしたちは、いろいろ調べたことをもとに、

「もし、今後大きな地震や災害が起きた時、情報を＜正しく、確実に、速く＞伝えるためにはどうすればよいのか。また、ふだんからどうしたらよいのか。」

について、10月20日と22日にグループで調べたことの発表会をしました。そして、その発表をもとに、また、みんなで話し合い、わたしたちなりの提案をまとめてみました。

◇問題◇

情報が神戸や西宮のことばかりで、宝塚の事が遅かった、少なかった。

(テレビ・ラジオ・新聞など)

◇提案◇

- 1、同じ放送局や新聞社から応援してもらい、記者の人数を増やす。
 - 2、ちがう放送局や新聞社が協力して共同で取材する。
 - 3、放送局で分担して放送する。
- (例)
- 2チャンネルは神戸。4チャンネルは西宮。6チャンネルは宝塚。
 - 8チャンネルは安否情報。10チャンネルはライフライン情報。
- 4、放送局や新聞社の建物や設備を丈夫にする。また、被害をうけても仕事ができるように、予備の体制と設備を作っておく。
 - 5、停電に備えて、放送局や新聞社に発電機を備える。
 - 6、宝塚にミニ放送局を作る。

◇問題◇

宝塚のみじかな情報が遅かった、行き届かなかった。

(市役所)

◇提案◇

- 1、ふだんから近所の人どうし仲良くし、口コミの情報が伝わり易くしておく。
- 2、自治会ごとに、情報アシスタントを決めて、情報が伝わりにくい人に伝えるようにする。
- 3、宝塚市の広報板を増やす。
- 4、宝塚市の放送局を作る。
- 5、広報車が使えない場合、ヘリコプターにスピーカーを付けて、空から知らせる。
- 6、市役所や会館、学校などの建物や設備を丈夫にする。また、被害をうけても仕事ができるように、予備の体制と設備を作っておく。
- 7、停電に備えて、市役所や会館、学校などに発電機を備える。

◇問題◇

電話がなかなかつながらなかった。(NTT)

◇提案◇

- 1、電話線が切れても使えるように、携帯電話や無線電話を広める。
- 2、電話線が切れても使えるように、公衆電話も無線にする。
- 3、容量の大きい交換機を作る。
- 4、家庭電話がこわれても使えるように、公衆電話や臨時電話を増やす。
- 5、停電しても使えるように、公衆電話に太陽電池をつける。
- 6、電話局の建物や設備を丈夫にする。また、被害をうけても電話が使えるように、予備の体制と設備を作っておく。

◇問題◇

目や耳の不自由な人たちに情報が伝わりにくい。目や耳の不自由な人たちが情報を伝えるにはどうするか。

◇提案◇

	目の不自由な人たちに	耳の不自由な人たちに
テレビ		<ul style="list-style-type: none"> ・字幕番組を増やす。自動的に字幕の出るテレビを作る。 ・手話通訳の番組を作る。 ・自動的に字幕の出るテレビ電話を作る。
NTT		<ul style="list-style-type: none"> ・ファックスを広める。 ・電話線が切れても使える携帯・無線ファックスを作る。 ・公衆ファックスを作る。
市役所	<ul style="list-style-type: none"> ・市の広報紙を録音したテープを配達する。 ・分厚くならない点字の広報紙を作る。 ・点字の広報板を作る。 ・月1回ぐらい「情報アドバイザー」が訪問して情報を伝えたり、聞いたりする 	<ul style="list-style-type: none"> ・手話のビデオを作る。 ・月1回ぐらい「情報アドバイザー」が訪問して情報を伝えたり、聞いたりする。

◇問題◇

日本語の分からない外国人に情報が伝わりにくい。日本語の分からない外国人が情報を伝えるにはどうするか。(市役所・テレビ)

◇提案◇

テレビ	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語の副音声による放送番組を増やす。 ・外国語専用番組を作る。 ・衛星放送を活用する。
市役所	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語の分からない外国人用の電話相談窓口を作る。 ・月1回ぐらい「情報アドバイザー」が訪問して情報を伝えたり、聞いたりする。 ・宝塚に住む外国人の分かる言葉の広報紙を作る。 ・国際文化センターの資料や案内を多くの国の言葉で作る。
	N T T：外国語の案内を増やす。 その他：同時通訳機を発明する。

◇わたしたちはどうしていくか◇

- 1、これから、できるだけ新聞やテレビのニュース、市役所の広報紙などをよく見ていろいろな情報に関心を持つようにしたい。
- 2、近所の人と仲良くするようにしたい。
- 3、点字や手話を覚えるようにしたい。
- 4、外国語を話せるようになりたいな！

◇阪神大震災の市町別死者数◇(単位：人)

兵庫県・消防庁 平成7年12/27発表

		既発表分	再調査判明分	関連死	合計
兵 庫 県	神戸市	3897		587	4484
	尼崎市	27	4	17	48
	西宮市	999	4	104	1107
	芦屋市	396	1	36	433
	伊丹市	11		8	19
	宝塚市	83		33	116
	川西市	1		2	3
	明石市	5	3		8
	加古川市	2			2
	三木市	1			1
	吉川町	1	△1		0
	洲本市	4			4
	津名町	5			5
	淡路町			1	1
北淡町	38		1	39	
一宮町	10			10	
小 計	5480	12	788	6280	
大 阪 府	大阪市	14	2		16
	堺市	1			1
	豊中市	4	2	2	8
	池田市		1		1
	吹田市	1			1
	箕面市	1			1
小 計	21	5	2	28	
京 都 府	大山崎町	1			1
小 計	1			1	
合 計	5502	17	790	6309	

阪神・淡路大震災による死者数について、自治省消防庁と兵庫県は、「関連死者数」を発表した。

今後、関連死を含めて、さらに大震災での犠牲者が増加するものと考えられる。

平成8年1/12発表の兵庫県警のまとめでは、震災を苦に自殺した人の数が32人、仮設住宅で死亡した人の数が49人にのぼることが明らかになった。

◇阪神大震災外国人市民死者数◇

韓国、朝鮮・・・111人
 中国、台湾・・・44人
 アメリカ・・・2人
 ペルー・・・1人
 ブラジル・・・8人
 フィリピン・・・2人
 オーストラリア・・・1人
 ミャンマー・・・3人
 アルジェリア・・・1人

おわりに

震災後、はや1年が過ぎようとし、被災地では復旧復興に向けて立ち上がり、宝塚の街もだいぶ落ちつきをとりもどしてきました。

しかし、被災した人々の心には地震時の恐怖で受けた精神的ダメージ、家族・友だちとの分離、住み慣れた家の破壊、不自由な仮設住宅での生活等が深い傷となり残っています。

「がんばれ」という善意からの一言が、逆に被災者の気持ちを逆なでする場合もあります。「無理に励まさない」「孤独感を持たせない」「相談にのるときは具体的な対応を」等が、心構えとしての教訓です。

巨大地震を体験した私たちは、新たな防災教育の必要性を強く感じるとともに、この震災体験を伝達することにより、防災対策の参考になれば幸甚です。

震災記録集を編集するにあたり、ご協力いただきました各学校と児童・生徒のみなさん、また各関係機関の方々に心から感謝申し上げます。

平成8年1月17日

震災記録集編集委員一同

(編集委員)

宝塚市立安倉北小学校	校長	柳沢 勇
長尾中学校	校長	九鬼 和雄
中山五月台小学校	教頭	村上 慶治
宝塚第一中学校	教頭	埜村 和彌
宝塚小学校	教諭	森岡 好男
光明小学校	教諭	小阪田 明
すみれが丘小学校	教諭	森鼻 佐恵子
安倉北小学校	教諭	岸 裕子
中山五月台小学校	教諭	住吉 章宏
宝塚第一中学校	教諭	大仁 一男
宝梅中学校	教諭	小林 秀昭
御殿山中学校	教諭	井上 秀清
南ひばりが丘中学校	教諭	早志 昇
宝塚市立教育総合センター	指導主事	花崎 進
宝塚市立教育総合センター	指導主事	奥田 誠治
宝塚市教育委員会学校指導課	指導主事	高田 親治

(資料提供)

宝塚市立良元小学校	兵庫県
宝塚市立小浜小学校	宝塚市役所
宝塚市立宝塚小学校	災害対策本部
宝塚市立仁川小学校	企画部
宝塚市立西山小学校	総務部
宝塚市立安倉北小学校	環境・経済部
宝塚市立長尾台小学校	健康推進部
宝塚市立光明小学校	福祉部
宝塚市立末広小学校	水道局
宝塚市立宝塚第一中学校	消防本部
宝塚市立宝塚中学校	宝塚市社会福祉協議会
宝塚市立長尾中学校	宝塚市ボランティア活動センター
宝塚市立御殿山中学校	阪急電鉄株式会社(宝塚駅)
宝塚市立光が丘中学校	(遊園課)
宝塚市立山手台中学校	府中市教育委員会
宝塚市立末成幼稚園	武蔵府中郵便局・宝塚郵便局

阪神・淡路大震災／宝塚の記録

平成8年1月17日発行

表紙 写真：宝塚小学校仮設校舎

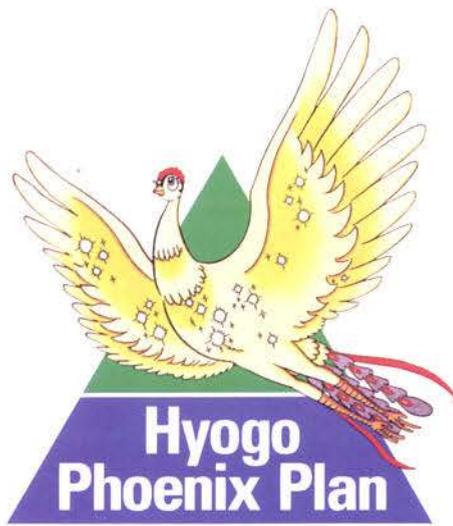
題字：西山小学校 田中ゆみ

編集：震災記録集編集委員会

発行：宝塚市教育委員会

宝塚市東洋町1番1号

TEL 0797-71-1141



©Tezuka Productions